

上田市長と

タウントーク あなたの街で市長と語ろう

子育てを語る

市長と市民の皆さんの直接対話の場であるタウントークは、各区独自のアイデアで、さまざまな形式により行われています。九月十八日に中央区で開催したタウントークのテーマは子育て。「山鼻ふれあい子育てサロン」を訪れた市長が、子育て中のお母さんたちと対話を行いました。その一部をご紹介します。



山鼻ふれあい子育てサロンとは？

今年7月から山鼻地区で始まった子育て家庭の交流の場。地域で子育てを支えようと、住民が自主的に運営しているもので、一緒に遊びを楽しみながら見守りを行っています。中央区では、同様の取り組みが東、幌西、東北の各地区でも進められています。



▶自らの子育て経験談を織り交ぜながら、対話を行いました



▲サロンを運営する地域の方々からも、開設時の苦労話などを聞きました。このほか、市長から厳しい財政状況や敬老パス見直しなど、市政の課題を話しました

広げよう！子育ての輪

サロンでは経験者の話が聞けて参考になります。もっと広めてください。

実家と離れて暮らしてあるので、最初は不安でしたが、地域の方々が見守ってくれているので心強いです。

市外から引っ越してきたばかり。サロンに来たから友達ができました。

昔と違い、今は親や親類など、身近に相談相手がない場合が多いですね。経験者から見ると問題ないことでも、孤立すると悩みがちです。子育てを終えた方にポ

ランテアとして協力してもらい、小学校の空き教室を活用した交流の場をつくらうと考えています。

公園でのボール遊び

ボール遊びができない公園が多いようです。幼児が投げ遊べる程度なら構わないのではないのでしょうか。

現在、公共施設の利用の仕方について、もっと使い勝手を良くしようという緩和の研究をしています。小さな公園の中で、硬球を使って野球をするとなると、さすがに迷惑ですが、子どもが

ボール投げをして遊ぶことまで禁止すると、遊び方が限られてしまいますよね。

冬の遊び場がほしい！

雪のある期間の過ごし方が悩みの種。

冬は家の中に閉じこもりがち。雪を使った遊び場があれば、外で遊ぶようになると思います。

北海道の子どもらしく、自分で工夫して遊ぶようになってほしいですね。公園を雪捨て場にせず、かまくらを作るなど、大人も一緒に遊ぶことができればいいと思います。こうしたサロンでも、冬の遊び方について情報交換できたら、もっと発展性のある集まりになりますね。私も公園を冬の遊び場として確保できるように、考えていきたいです。

子どもを預けたい！

少しの間でも、子どもを預かってもらえたら、とても助かります。

ずっと子どもの面倒を見るのは大変。たまに

は、一人で出掛けたい時もありますよね。お年寄りを介護している人も同じです。決して一人で悩むべき問題ではないことに多くの人が気付けば、社会に人と人とのネットワークが生まれ、安心して暮らせる街づくりにつながるのではないのでしょうか。

今回のタウントークや今後の実施方法などについて、「ご意見をお寄せください。」

中央区役所総務企画課広聴係

☎(231)2400 (内線224・472)

FAX(231)65339

〒060-0812 南3西11

電子メール ch.somui@chuo.city.sapporo.jp

dfo.sapporo.jp